

【総会決議】

いのちを大切に平等な社会を！

二度と戦争はおこさせない！

平和で安心・健康的な地域づくりを

「共謀罪」強行採決は議会破壊の暴挙、満身の怒りをもって抗議します。独裁日本への道は許しません。

思い出しましょう過去の出来事を。日本の侵略戦争によって300万人の日本人と2000万人のアジアをはじめとする国々の尊い命をうばった第2次世界大戦。その反省のうえに世界に公約したのが憲法9条です。「紛争は武力でなく、話し合いで解決をする」「軍隊をもたない、戦争をしない」。

いま、ありとあらゆる所で戦争へのルールが引かれようとしています。防衛省の研究助成費が昨年度6億円から110億円へと大幅に増額され、学者や大学関係者の、戦争への肩入れを迫っています。

また、「共謀罪」については法律家が市民の内心の自由、正当な言論・表現を侵害する危険が極めて高く憲法に違反するとしています。「共謀罪」は過去の戦争前夜の「治安維持法」によく似ているといわれています。安倍暴走政権が踏み鳴らす軍靴の音が聞こえてきませんか。

一方、社会では子供から大人まで世界に類を見ない貧困格差が広がっています。国民生活基礎調査によると生活が「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせると、「約6割が生活苦を感じている」とあり、現代の日本社会では子供から大人まで貧困の拡大に歯止めがかからない状況に陥っています。

このような中で、憲法「改正」や「共謀罪」など戦争政策につながるあらゆる動きを許さず、核兵器禁止国際条約の草案を歓迎し、いのちや人を大切にす社会保障の充実を求めます「組織、世代の違いを超えて手をたずさえ、よりよい社会をつくろう」と呼びかけ行動することを誓います。

2017年6月18日

第31回京都中・右京健康友の会総会